

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP
食と観光実践	石原 洋介	実習	2		2, 3	3. 4
授業概要 授業目的	食と観光に関して、三重県内でフィールドワークを交えた体験型実習を行う。観光客など地域への愛着を持つ者を増やすことで、地域で作られてきた食品や地域で育まれてきた食文化を継承し発展させていくことにつなげることができないかを考えていく。主体的に考え、グループワークにおいて所属や専門の異なる他者と議論し、生産者や観光客などに対してインタビューを行うなどといった一連のプロセスによって、地域イノベーションを実践する人材育成を目指す。					
到達目標	地域住民や観光客など自らとは異なる立場の人たちにインタビューし、その内容に対してグループ討議を経てそれぞれの専門性に則った意見を述べることで主体性を發揮できる。					
学習 内容	<p>10月上旬 「ガイダンス」            13:00-14:00 現状把握と課題解決の考え方            14:10-15:10 ご当地グルメを活用した町おこし            15:20-17:00 グループワーク</p> <p>10月中旬 「三重県の基礎情報を学ぶ」            13:00-15:30 展示見学・講義            15:40-17:00 グループワーク</p> <p>10月下旬 「食を活かした観光開発」            10:00-12:00 施設見学・体験            12:00-13:00 昼食・移動            13:00-14:00 農を活かした観光開発            14:10-16:10 グループワーク</p> <p>11月下旬 「食と観光を踏査する」            10:00-16:10 フィールドワーク</p> <p>12月上旬 「食と観光を考える」            13:00-17:00 グループワーク</p> <p>12月中旬 「食と観光を発表する」            13:00-16:00 成果発表会            16:00-17:00 講評・まとめ</p> <p>※受け入れ先の都合などによっては、変更になる場合があります。</p>					
予習内容 復習内容	三重県内の食品生産や食文化の現状・課題や、観光業の現状・課題等について、事前に情報収集をし、考察を深めておく（36時間）。成果発表に向けてグループの仲間と連絡を取り合いながら、時間外に準備を行う（9時間）。					
教科書	なし。（必要に応じて資料等を配布する場合があります）					
成績評価	①グループワーク等への取組姿勢 60%、②成果発表レポート 40% ※一部でも欠席した場合には、単位は与えられないでの、日程管理に留意すること。 ※グループワーク、フィールドワークにおいては、教員が適宜アドバイスする。グループワークなどで出された質疑にも教員が適宜回答する。					
実務経験	行政での委員経験があります。講義では地方自治体やまちづくり関係者からお話を伺います。					
その他 特記事項	三重県内の複数の高等教育機関との合同授業になります。					